

平成 24 年（2012 年） 6 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（１日目）

平成 24 年 6 月 13 日（水）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	比 嘉 瑞 己 (日本共産党)	1 若者たちの 雇用について	(1) 那覇市の若年労働者人口、完全失業者数(%)、非正規雇用者数(%)、年収 200 万円以下の労働者数は何人いるか。全国との比較を問う (2) 那覇市の企業誘致策における、コールセンターの非正規雇用者の実態を問う。市民の税金で誘致をするのであれば、正規雇用を義務づけるべきである。当局の見解を問う (3) 地元根差す県内中小企業向けに、研修などの人材育成への助成など、正規雇用を増やすための施策を進めるべきである。当局の見解を問う
		2 低所得世帯 への子育て支 援について	(1) 低所得世帯でも学童保育を利用できるように、保育料減免措置を実施すべきである。当局の見解を問う (2) 母子・寡婦福祉資金貸付制度について、申し込み件数と貸し付け件数の推移を問う (3) ひとり親世帯は父子家庭も含めて経済的に困窮している。那覇市独自の施策として、ひとり親世帯向けの緊急小口貸付制度を創設すべきである。当局の見解を問う
		3 不登校児童 生徒への支援 について	那覇市の小中学校における不登校児童生徒の現状を問う。不登校を克服するためには、児童生徒への支援と同時に、保護者や家庭への総合支援が不可欠である。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 24 年 6 月 13 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	久 高 将 光 (自 民 党 新 風 会)	1 世界遺産・特別名勝「識名園」の管理・運営について 2 公園内駐車場について	平成 12 年、ユネスコの世界遺産として「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として登録された、9 件の文化遺産の中で、那覇市に在する「識名園」は、唯一の庭園である。この庭園はご承知の通り、1799 年に創設された、琉球王家の別邸であり、中国皇帝の遣わした冊封使を歓待するため、また、普段は国王一族の保養の場として創設された一方、「識名園」は「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の中で唯一の特別名勝である。我が国における庭園の特別名勝は 30 件であり、九州・沖縄地区では唯一の貴重な庭園である。有形文化財でいうところの「国宝」に値する大変、価値のある庭園であると広く認識されているところである しかしながら、先日訪れた際、御殿(うどうん)の屋根に一部無粋なブルーシートが被されていた そこで伺う (1) 御殿屋根の一部が破損したとのことだが、その原因と破損状況と対応について伺う (2) 我が国でも最高レベルの庭園として位置づけられ、世界的にも高く評価されている「識名園」を色々な祭事に利用すべきだと思うが、実績と考え方について伺う 那覇市内の公園駐車場は早朝から夕方まで満杯状態の所が多く、市民の利活用度の面で喜ばしい反面、地域の企業関係者の不当駐車もあると聞いている 公園駐車場は、本来、利用者に公平に利用されるのが望ましいが、現状は長時間駐車があると考えられ、このような状況に対する対応策について当局の見解を伺う (1) 公園駐車場の数と管理方法及び長時間駐車の状態について伺う (2) その対策として、駐車場の有料化を検討する必要があると考えるが、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 24 年 6 月 13 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	仲 松 寛 (自民・無所属 ・改革の会)	1 医療行政について 2 保育行政について 3 道路行政について	不妊治療に対する助成について 高額な医療費がかかる不妊治療については、子どもを授かりたい当事者にとって個人負担が重く、社会的に支えていく仕組みづくりが必要である。ついては次の事項について伺う 不妊治療に対する県、市町村の助成はどのようなになっているか伺う 那覇市の保育士不足について 本市は児童数の増加に伴い、待機児童数も増加の傾向にある。待機児童の解消に向けて本市はこれまで、無認可保育施設の認可化を推進する等の対応を図り、認可園の定員を増やす等の取り組みを行ってきたが、十分な保育士の確保がなされず、保育士不足が大きな問題となっている。ついては、次の事項について伺う (1) 待機児童の現状はどのようなになっているか伺う (2) 保育士の不足数はどれくらいか伺う (3) 保育士不足の要因と課題について伺う (4) 保育士確保を図るため今後の取り組みについて伺う 古波蔵、楚辺地域における道路環境整備について 近年、那覇市の道路整備状況は、急ピッチに進み、市内の慢性的な交通渋滞解消をはじめ利用者の利便性及び安全が図られつつある。しかしながら、市内においては未だに道路整備格差が指摘されており、一部地域においては、安全な道路環境整備が強く求められている ついては、次の事項について伺う (1) 古波蔵、楚辺地域における道路環境整備計画はどのようなになっているか伺う (2) 古波蔵地域において、一方通行解消が求められているが、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 24 年 6 月 13 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 老朽校舎問題について 2 消費税増税について 3 道路の植栽の雑草問題について 4 前立腺がん対策について	(1) 上間小学校の校舎の状況について、どのように認識しているか (2) 早急に対策が必要と思うが、前倒しも含めた改築計画に入れるべきと思う。見解を問う (1) 中小企業の皆さんからの、今でも商品に消費税を転嫁できず、自腹を切っているのに 10%になれば、廃業しかない、との声について見解を問う (2) 医療機関は、薬品などの購入分の消費税を、医療費に転嫁できない。市立病院の増税分の負担増は幾らになるか。また、対策を考えているのか (1) 国道や県道で植栽帯をコンクリートで固めてしまう事例がみられるが、本来の植栽帯の趣旨からしてもおかしい対応ではないか。理由を問う (2) 本市のまちづくりという観点から、道路の植栽の持つ意義、管理の在り方を問う (1) 前立腺がんが増大傾向にあるという。本市として対策を考えるべきではないか (2) 特定健診の補助項目に追加して、P S A 検査を推進してはどうか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 市長の政治姿勢について 2 沖縄戦の遺族のDNA鑑定について 3 小中学校グラウンドの不発弾探査について 4 学童保育について 5 多機能トイレについて 6 道路行政について	(1) 県議選挙の結果について見解を問う (2) 沖縄の経済をダメにする消費税増税、TPP参加と新基地建設、世界一危険なオスプレイ配備など野田民主党政権の県民に犠牲を押しつける政治について見解を問う (1) 戦没者の遺骨のDNA鑑定による遺族判明の状況を問う（全国・県内） (2) 沖縄戦終結から 67 年、DNA鑑定は遺骨だけでなく、高齢化した沖縄戦遺族のDNA鑑定とデータ化を国の責任で実施するよう、本市としても国に要請すべきと考えるが見解を問う 首里高校のグラウンドで不発弾が相次いで発見されるなど、学校グラウンドの安全性が懸念されている。本市の小中学校でも安全確保のために、磁気探査を実施すべきではないか。見解を問う (1) 必要性和本市の現状を問う (2) 学童保育の整備は、幼稚園と体育館の建て替えに合わせて、学童保育専用施設を設置すべきではないか。見解を問う (1) 本市、本県での設置状況を問う (2) 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化を促進するためにも、国際通り、市場などに設置を積極的に推進すべきではないか。見解を問う 首里石嶺地域の幹線となっている市道石嶺線の沖縄銀行石嶺支店前から、石嶺交番向けに凹凸が激しい場所がある。早急に改修を図るべきではないか。対応を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 24 年 6 月 13 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	前 泊 美 紀 (無 所 属)	1 復帰 40 周年 の取り組みに ついて	沖縄県は今年、日本復帰 40 年を迎えた (1) 本市の復帰 40 周年の取り組みとその意義を伺う (2) 教育現場での取り組みについて伺う
		2 公民館行政 について	公民館の整備・運営等に関するビジョンについて (1) 平成 4 年度に策定された「社会教育施設（公民館・図書館等）整備計画」の見直しの進捗状況と、新しい計画の策定について伺う (2) 業務委託の現状と今後の方針について伺う
		3 住宅行政に ついて	居住環境の向上を図るとともに、地域経済の活性化が期待される「住宅リフォーム助成制度」は、本議会でも再三取り上げられ、当局も前向きな姿勢を示している 同制度の検討状況と課題を伺う
		4 労働行政に ついて	沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した「コールセンター人材育成及びマッチング支援事業」の詳細と、今後のスケジュールを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 24 年 6 月 13 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	宮 里 光 雄 (自民・無所属 ・改革の会)	1 防災行政について	(1) 全国瞬時警報システム（J-Alert）の稼動状況と市民への情報伝達体制について伺う (2) 大型ビジョン設置事業において、防災に関する情報伝達の手段としての活用方法は考えられているのか伺う (3) 地域防災計画策定に係る本市と県との業務連携について現状を伺う
		2 A E D 設置事業について	コンビニとの連携方法と今後のスケジュールについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長